

# 仕合わせ

# の和

第230号

令和3年 5. 1  
(毎月1日発行)

## 大和言葉(やまとことば)

住職 谷川寛俊

毎日コロナ・コロナで朝から晩まで耳にタコが出来るくらい聞きあきた言葉から一転、リフレッシュしてもらおう意味で、原点に立ち返って大切なお話をしたいと思えます。

我が国の呼び名を「にっぽん」「ほん」「ひのもと」と読んでいますが、日本の正式名称をご存じですか？

正式には「**日本国**」(にっぽんこく)です。

かつては大日本帝国と呼んだ時期もありました。

「**おとうさん**」「**おかあさん**」も大和言葉です。

「おとうさん」の「とう」とは、尊(とうと)し、貴(とうと)し、つまり尊(とうと)い人に尊敬と丁寧な「お」「さん」がついて「おとうさん」になりました。

そして「ひ、ふ、み、よ、いつ、む、なな、や、こい、とお」の「とお」があります。

この場合の「とお」は9+1と言う意味で数字的に十分満ち足りていることです。

「おとうさん」とは心身ともに統合された尊い人という意味です。

「おかあさん」とは、「か」は「火、日」が熱く「カツ」と輝くさまを指します。

日の光はその字が示すように力(パワー)でもあります。万物の命の元です。

「あ」は生まれの「あ」、愛のエネルギーで命を生み出すことです。

「おかあさん」とは、太陽のように明るく輝いている存在で子を産んだ人です。

夫婦はどちらも「つま」と言いました。妻は、自分に子を授けて下さった日止(ひと)を尊い人「おとうさん」と呼び、夫(つま)は太陽のような明るさを持ち自分の日の子を産んでくれる妻「おかあさん」と呼びました。その互いの光を受け継ぐ者を日子(ひこ)彦と日女(ひめ)姫と呼びました。

### 真成寺ホームページ



玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でもお寺につながります。

日本人にとって、おとうさん、おかあさん、と呼び合うことは、お互いの内なる光・魂を見合い、敬い合うことから始まりました。

「おとうさん、おかあさん」どちらも大切に呼び合いたい言葉ですね。



## おもしろ話

### 18歳と81歳の違い

- 1、道路を暴走するのが18歳  
道路を逆走するのが81歳
- 2、心がもろいのが18歳  
骨がもろいのは81歳
- 3、偏差値が気になるのが18歳  
血糖値が気になるのが81歳
- 4、受験戦争を戦っているのが18歳  
アメリカと闘っているのが81歳
- 5、恋に溺れるのが18歳  
風呂に溺れるのが81歳
- 6、まだ何も知らないのが18歳  
もう何も覚えていないのが81歳
- 7、自分捜しの旅をしているのが18歳  
出掛けたまま分からなくなって皆が捜しているのが81歳